
穴屋

窪田トシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

穴屋

【Nコード】

N8909G

【作者名】

窪田トシ

【あらすじ】

穴。穴はどこにでも開いている。そして、どこにでも開けることが出来る。私は、穴を売っております。

穴。穴はどこにでも開いている。そして、どこにでも開けることが出来る。

地面に穴。

床に穴。

机に穴。

そして、、、

私は、穴を売っております。

もし、お気に召した穴が無ければ、穴を掘り、売っております。

穴は、通じておりますが、通り抜けることが出来るかどうかは判りかねます。

先日のこと、彼女に通じる穴を買いたいと、お客様が来店されました。

私は、彼女のどこに通じるか、分かりかねますが、よろしいでしょうか？

と、お尋ねいたしましたところ、

どこでもいいというご返事だったので、一つ、穴を掘ってお売りしました。

お客様は、上機嫌で、頭より、少し大きい穴をお持ち帰りいたしました。

お客様のリビング。

穴を抱えているお客。

時計を見る。

腕時計が、12時5分前である。

お客は、

「あと五分か」

と嬉しそうな顔をしている。

腕時計が12時を指した。

「俺からのプレゼントに、ぶっ飛ぶぐらい喜ぶぜ、恭子のやつ。誕生日の日は、出張で帰宅時間は深夜なるから（会えない）って言うてたからな」

リボンをした箱を、穴に入れるお客。

肘まで入れて、それ以上に入らず困ってしまった。

ヤケクソになり、グイグイと穴に押し込むが、やっぱり入らない。

部屋のベッドで寝ている恭子が、強烈な痛みのため、鼻を押さえた。

お客は、穴の奥に、恭子へのプレゼントをグツと押した。

寝ている、恭子が飛び上がり、

「ぎゃー！」

お客は、自分の部屋で、何とかプレゼントを贈ろうと頑張っている。

「クッソー、これ以上、入んないよ」

恭子は、隣で寝ている男性を起こした。

「ね、ねえ、は、鼻が痛いの」

お客は、部屋で喚きだした。

「どこに、通じてんだよ！くっそー！インチキ穴屋！」

プレゼントを穴から取り出し、腕を入れ始めるお客。

恭子は、熟睡している隣の男性を一生懸命起こした。

「ねえ、起きて。ねえ。」

恭子と一緒に寝ているイケメン男性が振り向く。

イケメン男性が眠そうに、目をこすりながら、

「どうしたんだい」

恭子が、鼻を押さえながら

「さっきまで、すごく鼻が痛かったの」

「見せてみるよ」

優しく、鼻を押さえている手をどける。

「何も無いよ、安心して」

恭子に、キスをするイケメン男性。

キスをしながら、頬に何か当たり、イケメン男性は、違和感を感じた。

キスをしながら、そっと、そちらに目を向けた。

視界に指が見えた。

イケメン男性は、びっくりして、恭子から離れた。

恭子の、鼻の穴から、指が出て、その指がぐるぐる回っている。

「お、おまえの鼻の穴から、ゆ、指が！」

お客は、激怒していた。

「この穴、どこに繋がってんだよ！指を回しても、当たるところねえーし！」

鼻から出ている指が見えた恭子は、鼻を押さえながら叫んでいる。

恭子「ウギャー！ウ、ウゴー！」

服を持って、イケメン男性は、慌てて逃げ出した。

恭子は、鼻を押さえながら、

「待つてよー、待つてよー」

と、イケメン男性の後を追いかけた。

が、ドアは、激しく閉じられた。

お客は、恭子の部屋へ通じる穴を買いたかったのに、恭子本人に通じる穴を買ってしまったのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8909g/>

穴屋

2010年10月20日23時59分発行